

いのち輝くいつせの里

前山小学校 校長だより

令和5年4月20日

文責 植木政行

未来に輝け！統合プロジェクト in 前山小

平素より、本校教育について多大のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年度には、前山小学校と竹田小学校が統合し、竹山小学校が誕生します。今、子どもたちは、新しい出会いを楽しみにして、わくわくしています。

そこで、未来に子どもたちが力強く輝くことを願い、前山小学校150年の節目となる本年度は、『未来に輝け！統合プロジェクト in 前山小』を展開いたします。

つきましては、その第1弾として、校長だよりを全戸配付とし、『前山小学校の思い出』のコーナーを設け、地域の方のエピソードを紹介させていただくことにしました。初回は、前山地区自治振興会の余田義信会長と前山小学校PTAの余田紀章会長の思い出を紹介します。

『前山小学校の思い出』 前山地区自治振興会 会長 余田義信

前山小学校に入学したのは今から67年前、1956（昭和31）年です。同級生は卒業時で45人いました。教室は2人掛けの長机で、天板を開けると教科書が収納できました。席替えは学期に一度の一大イベントでしたね。

3年生の時、木造から鉄筋コンクリートの2階建て校舎に変わりました。今の校舎の前の建物ですね。屋上で遊べるようになっていて、ドッジボールをしたことを覚えています。

このころ、給食が始まったと記憶しています。パンを食べたことがなかったので、給食に出た時は何よりうれしかったですね。それまでは弁当で、教室の石炭ストーブの横に、弁当を温める棚のようなものがありました。

学校にプールはなく、水泳の授業はありませんでした。夏休みになると、前山川などを石や束ねたワラ、赤土などでせき止めて泳いでいました。地区ごとに泳ぐ場所がだいたい決まっていて、私が住んでいる鴨阪は今の公民館あたり。上級生の指導で泳ぎましたが、深さは1メートルくらいあったかな。

絵を描くことが好きで、いろいろな賞をもらいました。6年生の時のマラソン大会は、3位だったことを覚えています。

登下校中にも思い出はたくさんあります。今のような「おやつ」はなく、季節ごとに野草や野菜などを、学校帰りに自分で探して食べていました。イッタンドリ（イタドリ）やスイスイ（スイバ）、なんば（トウモロコシ）、吊るし柿や干し芋などを食べました。

いたずらもしました。教室の入り口の戸の上の方に黒板消しを挟んでおき、先生が戸を開けると落ちてくる仕掛けです。何度か成功もしたけれど、そのたびに叱られました。

6年間で一番覚えていることは、3年生の習字の時間。同級生を笑わせようと、自分の腹に「へのへのもへじ」を書いたこと。もちろん担任の先生に叱られ、水が入ったバケツを両手に持たされ、廊下に立たされました。

学校行事以外にも、覚えていることはたくさんあります。当時、ほとんどの家庭にテレビはなく、持っている人の家に子ども5人ほどで行って見せてもらいました。『ひょっこりひょうたん島』をよく見ましたね。夏にはアイスキャンデーを売りに来る人がいました。また、学校近くの前山川にアユが上ってきていたので、手づかみかヤスでついて捕まえました。

今年度いっぱい、思い出が詰まった前山小学校が閉校します。寂しい限りですが、児童の皆さんや地域の方々と共に、最後の1年間を楽しく過ごしたいと思っています。



入学した頃



修学旅行（奈良公園）



同窓会（2000年8月）

『想いを繋ぐ架け橋 前山小学校』 前山小学校PTA 会長 余田紀章

西に五台山、東には横峯山を見上げながら、1本の川が中心を流れ、日当たりのよい土地を農地にし、山裾に住居を構えた昔ながらの土地景観。その中心に位置する前山小学校の児童として、日本の四季を象徴する気候に恵まれながら過ごした6年間。文字通り「四季の巡り」に準じて自然を体感しながら生活していたものだと改めて感じさせられます。

前山の自然は、小学生だった私に1年を通した気候の変化とともに生きる事を教えてくれました。僅かに残る記憶の断片から、四季の巡りと共に前山小学校の思い出を少し振り返ってみました。

『新しい春』

新しい教室に真っ新な教科書。表紙の折り目をまっすぐにと意識してページを開く(何事もはじめが大事)。遠足は前日の放課後が始まり。友達と約束して行った「佐藤商店」。計算して200円分ちょうどのお菓子を買ったものの、家へ帰った頃にはお菓子が半分になることも。

前山小学校の校舎北側には石の標本があり、入学してすぐの頃「花こう岩」、「玄武岩」などと書かれた石の名を覚えながら下校したのを覚えています。

『遊びの夏』

下校して川で魚の手掴み、山に秘密基地作り。そんな遊びの毎日は夏休みも続き、親は心配絶えぬ40日間。

ある日の朝会か何かで、その時の教頭先生が「今日は火曜日。あと3日頑張ればもう休みだ。」と。平日のやり過ごし方を覚えたのもこの頃かもしれない。

『秋には』

運動会。1年生時の運動会は大雨の中、滑って転倒する友達が続出し、当然泥まみれ。雨に濡れて寒そうな姿ばかり。はじめての運動会は晴れてほしかった。

運動会は午前中で終え、家族や地域の方みんなでお弁当を食べるのが慣例。バックネット前に出店された「バザー」を覚えている人も多いでしょう。

『苦手の冬』

もしかすると寒いのが苦手なのは、6年生時に「冬でも登下校の時以外は半そで半ズボン」を「推奨」されたのが起源かもしれない。

そしてまた春を迎え、新しい気持ちで学年を跨ぐ。

150回もの春を迎えてきた前山小学校。小学生だった頃の私は、その時代を象徴するかのような書籍や図鑑を見ては、未来は車が空を飛び、町も村も栄え、豊かな未来が待っているのだと感じていたものです。当然、前山小学校の繁栄も。

今、前山小学校に通う児童は未来をどのように感じているのでしょうか。

いつの時代も人は今を大切に生きてきたはずで、それ故に歴史が作られてきたのだと思います。次の春を迎える頃、児童たちにとって望ましいのは、やはり同様に今を大切に生きることと、未来への希望を持っていること。前山小学校は長きにわたり、いつも児童たちに、時に前山の地域の方々へも希望と未来へ向かう力を与えてくれました。

児童と、前山の地域の方々の想いも含め、未来へと繋いでくれる架け橋、前山小学校。あと少しだけ、よろしく願います。

『その高き のぞみ 輝く』 (校歌より)



1年生



4年生



6年生